

令和4年度 大田区災害時医療フォーラムの開催について

1 大田区災害時医療フォーラムの目的

- (1) 区民に対して区の災害時医療体制を周知すること
- (2) 災害時又は災害時医療に関連した講演等を行い、区民及び医療関係者の防災意識の向上をはかること

2 令和4年度のテーマ

災害への備え「リスクコミュニケーション」

- (1) 気象情報や避難情報等の災害情報に対する地域住民の危機意識や避難に係る意思決定等の心理を理解し、避難行動につなげる
- (2) 災害時の医療機関のリスク回避方法を学び医療提供体制を確保する

3 日時

令和4年9月10日（土） 14時30分から17時20分まで

4 会場

大田文化の森 ホール

5 内容

司会 松本 賢芳 氏

(大田区災害医療コーディネーター、大森赤十字病院 医療社会事業部長)

- (1) 「大田区災害時医療体制について」

大田区災害時医療担当課長

- (2) 「災害情報の安心と安全とは」(仮題)

島崎 敢 氏 (近畿大学 生物理工学部人間環境デザイン工学科 准教授)

- (3) 「地域BCPについて」(仮題)

小井土 雄一 氏 (厚生労働省DMAT事務局長)

- (4) 「クライシスコミュニケーション」(仮題)

及川 康 氏 (東洋大学 理工学部都市環境デザイン学科 教授)

- (5) 座談会

出演者5名による意見交換

6 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会場定員を100名とする
- (2) 講演会は撮影・編集し、大田区チャンネルにて動画配信を予定
- (3) 広報は、区報、ホームページ、ツイッター、チラシ等により実施する